

# 事業評価に係るバックデータ

# ①国道163号 木津東バイパス

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道163号	木津東バイパス	L=0.6km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,900	2車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	14億円	6.6億円	21億円
基準年における 現在価値 (C)	12億円	2.3億円	14億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成29年度			
単年便益 (初年便益)	4.1億円	0.15億円	0.10億円	4.3億円
基準年における 現在価値 (B)	67億円	2.5億円	1.7億円	71億円

### ③ 結果

費用便益比 (B/C)	5.1
経済的純現在価値 (B-C)	57億円
経済的内部収益率 (EIRR)	17.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	11,900台/日	±10%	4.1~6.2
事業費	14億円	±10%	4.7~5.6
事業期間	6年	±20%	4.9~5.3

## 交通状況の変化

### 事業名：木津東バイパス

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①木津東バイパス (0.6 km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	11,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	1	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	2.58	
②主な周辺道路 ※4	国道24号 (1.9 km)	交通量	[台/日]	15,100	13,400
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	16.85	13.67
	天理加茂 木津線 (1.4 km)	交通量	[台/日]	14,100	12,600
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	9.75	8.41
	木津横田 線 (1.5 km)	交通量	[台/日]	12,300	9,800
		走行時間	[分]	4	3
		走行時間費用	[億円/年]	7.99	5.74
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (6,167.3km)	走行時間費用	[億円/年]	16,782.80	16,782.85	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,172.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	16,817.38	16,813.25	4.13

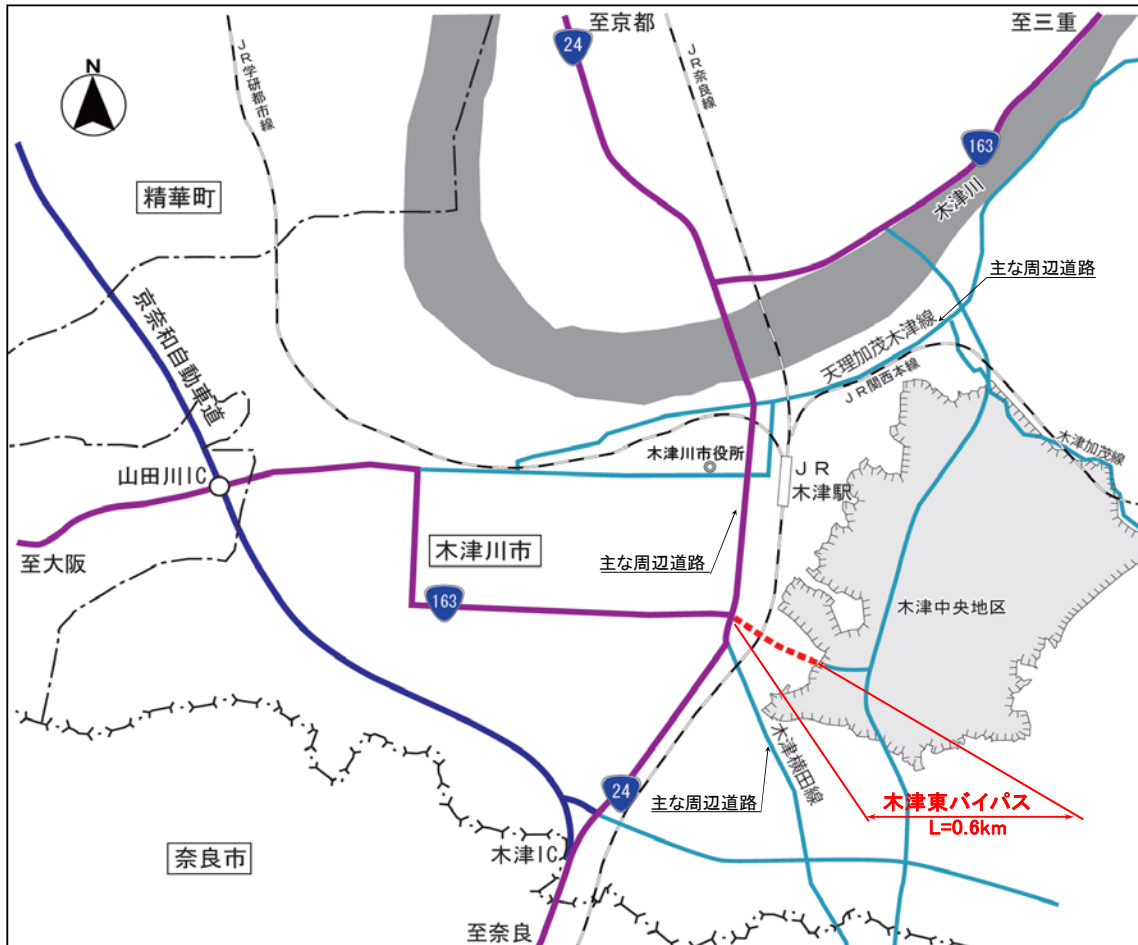
※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名：木津東バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスペース)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	その他( BPR関数と転換率式の併用による配分 )	<input checked="" type="checkbox"/>	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
その他( )	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		既存路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			



# 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 木津東バイパス

			単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
			0.23	0.6	0.14	
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 23	0.9615	0.51	0.49		
-5年目	H 24	0.9246	1.23	1.14		
-4年目	H 25	0.8890	1.35	1.20		
-3年目	H 26	0.8548	2.63	2.25		
-2年目	H 27	0.8219	5.67	4.66		
-1年目	H 28	0.7903	2.84	2.24		
供用開始年次	H 29	0.7599			0.13	0.10
1年目	H 30	0.7307			0.13	0.10
2年目	H 31	0.7026			0.13	0.09
3年目	H 32	0.6756			0.13	0.09
4年目	H 33	0.6496			0.13	0.09
5年目	H 34	0.6246			0.13	0.08
6年目	H 35	0.6006			0.13	0.08
7年目	H 36	0.5775			0.13	0.08
8年目	H 37	0.5553			0.13	0.07
9年目	H 38	0.5339			0.13	0.07
10年目	H 39	0.5134			0.13	0.07
11年目	H 40	0.4936			0.13	0.06
12年目	H 41	0.4746			0.13	0.06
13年目	H 42	0.4564			0.13	0.06
14年目	H 43	0.4388			0.13	0.06
15年目	H 44	0.4220			0.13	0.06
16年目	H 45	0.4057			0.13	0.05
17年目	H 46	0.3901			0.13	0.05
18年目	H 47	0.3751			0.13	0.05
19年目	H 48	0.3607			0.13	0.05
20年目	H 49	0.3468			0.13	0.05
21年目	H 50	0.3335			0.13	0.04
22年目	H 51	0.3207			0.13	0.04
23年目	H 52	0.3083			0.13	0.04
24年目	H 53	0.2965			0.13	0.04
25年目	H 54	0.2851			0.13	0.04
26年目	H 55	0.2741			0.13	0.04
27年目	H 56	0.2636			0.13	0.03
28年目	H 57	0.2534			0.13	0.03
29年目	H 58	0.2437			0.13	0.03
30年目	H 59	0.2343			0.13	0.03
31年目	H 60	0.2253			0.13	0.03
32年目	H 61	0.2166			0.13	0.03
33年目	H 62	0.2083			0.13	0.03
34年目	H 63	0.2003			0.13	0.03
35年目	H 64	0.1926			0.13	0.03
36年目	H 65	0.1852			0.13	0.02
37年目	H 66	0.1780			0.13	0.02
38年目	H 67	0.1712			0.13	0.02
39年目	H 68	0.1646			0.13	0.02
40年目	H 69	0.1583			0.13	0.02
41年目	H 70	0.1522			0.13	0.02
42年目	H 71	0.1463			0.13	0.02
43年目	H 72	0.1407			0.13	0.02
44年目	H 73	0.1353			0.13	0.02
45年目	H 74	0.1301			0.13	0.02
46年目	H 75	0.1251			0.13	0.02
47年目	H 76	0.1203			0.13	0.02
48年目	H 77	0.1157			0.13	0.02
49年目	H 78	0.1112	-2.48	-0.28	0.13	0.01
合計			11.75	11.70	6.57	2.25
単純事業費計			14.23		6.57	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



路線名	箇所名	車線数	延長
国道163号	木津東バイパス	2	0.6km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				1,032	
	改良費				803	
		土工	m <sup>3</sup>	229,365	662	切土(177,885m <sup>3</sup> )、盛土(51,480m <sup>3</sup> )、捨土(133,110m <sup>3</sup> )
		法面工	m <sup>2</sup>	23,470	86	切土法面、盛土法面
		排水構造物工	m	1,188	55	街渠
	橋梁費				174	
		100m未満	m	33	174	PC橋1橋
	舗装費				31	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	4,752	23	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	4,752	8	
	付帯施設費		式	1	24	
		交通管理施設工	式	1	24	標識工、防護柵工等
②	用地及補償費				248	
	用地費		m <sup>2</sup>	26,320	248	
		田畑	m <sup>2</sup>	7,750	155	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	18,570	93	
	補償費		式	1	-	
③	間接経費		式	1	213	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				1,493	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## ②国道165号 香芝柏原改良

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B.P.・ その他の別
国道165号	香芝柏原改良	L=2.8km	二次改築	現拓

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
28,900	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	102億円	48億円	150億円
基準年における 現在価値 (C)	76億円	14億円	90億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	8.2億円	0.16億円	0.02億円	8億円
基準年における 現在価値 (B)	112億円	1.6億円	0.23億円	113億円

### ③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.3
経済的純現在価値 (B-C)	24億円
経済的内部収益率 (EIRR)	5.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	28,900台/日	±10%	1.1~1.5
事業費	102億円	±10%	1.2~1.4
事業期間	10年	±20%	1.2~1.4

## 交通状況の変化

### 事業名：香芝柏原改良

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①香芝柏原改良 (2.8 km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	17,700	26,700	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	11	6	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	31.60	26.79	
②主な周辺道路 ※4	西名阪自動車道 (4.4 km)	交通量	[台/日]	54,000	48,800
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	39.99	35.54
	国道168号 (3.0 km)	交通量	[台/日]	16,700	13,600
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	24.31	19.18
	国道166号 (3.3 km)	交通量	[台/日]	4,700	3,300
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	6.17	4.28
	香芝太子線 (3.3 km)	交通量	[台/日]	8,200	7,100
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	13.75	11.71
③その他道路合計 (5,948.2km)	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
			32,334.90	32,344.95	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5,965.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	32,450.71	32,442.45	8.26

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：香芝柏原改良

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスペース)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	



(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		既存路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

# 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:香芝柏原改良

			単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
			0.36	2.8	1.01	
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 23	0.9615	0.51	0.49		
-9年目	H 24	0.9246	0.67	0.62		
-8年目	H 25	0.8890	1.06	0.94		
-7年目	H 26	0.8548	2.16	1.85		
-6年目	H 27	0.8219	11.56	9.50		
-5年目	H 28	0.7903	14.81	11.70		
-4年目	H 29	0.7599	22.63	17.20		
-3年目	H 30	0.7307	20.52	15.00		
-2年目	H 31	0.7026	19.53	13.72		
-1年目	H 32	0.6756	8.08	5.46		
供用開始年次	H 33	0.6496			0.96	0.62
1年目	H 34	0.6246			0.96	0.60
2年目	H 35	0.6006			0.96	0.58
3年目	H 36	0.5775			0.96	0.55
4年目	H 37	0.5553			0.96	0.53
5年目	H 38	0.5339			0.96	0.51
6年目	H 39	0.5134			0.96	0.49
7年目	H 40	0.4936			0.96	0.47
8年目	H 41	0.4746			0.96	0.46
9年目	H 42	0.4564			0.96	0.44
10年目	H 43	0.4388			0.96	0.42
11年目	H 44	0.4220			0.96	0.41
12年目	H 45	0.4057			0.96	0.39
13年目	H 46	0.3901			0.96	0.37
14年目	H 47	0.3751			0.96	0.36
15年目	H 48	0.3607			0.96	0.35
16年目	H 49	0.3468			0.96	0.33
17年目	H 50	0.3335			0.96	0.32
18年目	H 51	0.3207			0.96	0.31
19年目	H 52	0.3083			0.96	0.30
20年目	H 53	0.2965			0.96	0.28
21年目	H 54	0.2851			0.96	0.27
22年目	H 55	0.2741			0.96	0.26
23年目	H 56	0.2636			0.96	0.25
24年目	H 57	0.2534			0.96	0.24
25年目	H 58	0.2437			0.96	0.23
26年目	H 59	0.2343			0.96	0.22
27年目	H 60	0.2253			0.96	0.22
28年目	H 61	0.2166			0.96	0.21
29年目	H 62	0.2083			0.96	0.20
30年目	H 63	0.2003			0.96	0.19
31年目	H 64	0.1926			0.96	0.18
32年目	H 65	0.1852			0.96	0.18
33年目	H 66	0.1780			0.96	0.17
34年目	H 67	0.1712			0.96	0.16
35年目	H 68	0.1646			0.96	0.16
36年目	H 69	0.1583			0.96	0.15
37年目	H 70	0.1522			0.96	0.15
38年目	H 71	0.1463			0.96	0.14
39年目	H 72	0.1407			0.96	0.14
40年目	H 73	0.1353			0.96	0.13
41年目	H 74	0.1301			0.96	0.12
42年目	H 75	0.1251			0.96	0.12
43年目	H 76	0.1203			0.96	0.12
44年目	H 77	0.1157			0.96	0.11
45年目	H 78	0.1112			0.96	0.11
46年目	H 79	0.1069			0.96	0.10
47年目	H 80	0.1028			0.96	0.10
48年目	H 81	0.0989			0.96	0.09
49年目	H 82	0.0951	-8.92	-0.85	0.96	0.09
合計			92.61	75.63	48.00	13.90
単純事業費計			101.53		48.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



路線名	箇所名	車線数	延長
国道165号	香芝柏原改良	4	2.8km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				6,508	
	改良費				3,353	
		土工	m <sup>3</sup>	495,411	1,594	切土(74,312m <sup>3</sup> )、盛土(254,765m <sup>3</sup> )、捨土(166,335m <sup>3</sup> )
		法面工	m <sup>2</sup>	21,747	69	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	996	ブロック積、大型ブロック積み、補強土壁等
		函渠工	m	384	275	
		排水工	m	8,256	341	
		中央分離帯工	m	2,336	78	
	橋梁費				2,167	
		100m以上	m	108	1,293	連続高架橋1橋
		100m未満	m	104	874	PC橋1橋、鋼橋1橋
	トンネル費				493	
		開削	m	97	493	2本(上下線)
	舗装費				368	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	49,566	340	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	15,191	28	
	付帯施設費				128	
		交通管理施設工	式	1	128	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				2,635	
	用地費		m <sup>2</sup>	64,069	892	
		宅地	m <sup>2</sup>	10,429	730	
		田畑	m <sup>2</sup>	2,899	81	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	50,740	81	
	補償費		式	1	1,743	
③	間接経費		式	1	1,517	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				10,661	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用